

11月8日は いい歯の日



はちまるにいまる

8020運動の推進

80歳になっても歯を20本以上保とうという運動です。

20本以上自分の歯があれば、ほとんどの食べ物をおいしく食べられるといわれています。本県では「8020いい歯のお年寄り表彰」をおこなっており、平成7年から平成21年にかけて累計で1,700名以上が認定をうけています。もし、自分の歯が20本無くても、入れ歯で噛む機能を回復できます。

お口からの子育て支援

(施設訪問)

歯科保健・歯科医療にたずさわる歯科衛生士の育成は大きく期待されています。

秋田県歯科医療専門学校
歯科衛生士科



一貫した歯科衛生対策の充実を

秋田県における65歳以上の高齢者は32万人以上で、高齢化率は29.5%と非常に高い状況です。いくつになっても、口から食事ができ、元気に毎日をすごしたいと望んでいます。

歯・口の健康は全身への健康へと通じると言われています。

生涯を通じて、快適に会話ができ、おいしく食事ができるために周産期、乳幼児・学童期から成人・高齢期までの各ライフステージにおける一貫した歯科保健対策を充実させたいと考えております。

秋田県歯科医師会会長代行

中村 嘉夫



歯科医療は「生きる力を支える生活の医療」です。

日本歯科医師会 <http://www.jda.or.jp/>

秋田県歯科医師会 <http://www.akita-da.or.jp/>